

区社協による地域福祉活動への支援

区社協は

地域福祉課題の解決のために、住民同士のつながりに福祉専門職や地域活動者、区役所等と一緒に、「協議の場」「学びの場」「活動の場」をつくりながら
参画と協働による地域福祉
を推進しています。



地域福祉の推進のための支援プロセス

1

地域福祉**課題・ニーズの把握**

2

課題の共有化と解決に向けた取組

3

課題解決に向けた**活動への支援**

4

活動実施に向けた**周知・情報共有**

5

ボランティア・活動者の**育成・支援**

6

活動の**充実・発展**に向けた支援

7

活動の**ふりかえり**に向けた支援

8

活動の**継続への支援**

① 地域福祉課題・ニーズの把握

暮らしの「困りごと」を把握し、地域での活動に反映します。

■ 例えば、こんな場面・・・

- ・ 食事サービスや喫茶活動の場で、アンケートや聞き取り調査により住民の生活ニーズ等を把握。
- ・ 地域で福祉課題を話し合う場を開催し、個別の課題検討・把握を行う。
- ・ 支援困難事例や潜在的なニーズについて、地域・関係機関との協働によるニーズの掘り起こし、地域での情報共有を行う。



地域では対応が困難なケースや埋もれがちなニーズを的確に把握し、孤立死の発生等を予防する。



孤立死をなくすために地域みんなで話し合い

【区社協の役割】

- ・ 活動の場、会議の場で具体的な課題を把握します。
- ・ 課題の共有を図り、解決に向けた取組を提案します。
- ・ 地域組織や活動者の参加を促進します。

② 地域福祉課題の共有と解決に向けた取組

地域において、課題を共有する仕組みづくりを進めます。

■ 例えば、こんな場面・・・

- ・住民懇談会、ワークショップを開催、福祉課題を共有し、課題解決のために必要なことを話し合う。
- ・区役所と合同で、地域単位の地域福祉計画策定にむけて住民・関係者が協議する会議を設定。
(当日はグループごとの進行やまとめ役を担当)
- ・区における分野別会議などで、行政、関係機関等とともに、課題の共有と解決に向けた検討を行う。



地域内で課題を共有することで、地域において主体的に活動が実施される。



地域の強みや暮らしの困りごとについて
気軽なおしゃべりを通じて共有

【区社協の役割】

- ・話し合いの場の開催を提案・調整します。
- ・区役所や関係機関との円滑な連携に向けて、会議前後も含めて細やかに調整します。
- ・これまでの活動や解決すべき課題を整理しながら、これからの取組を一緒に考えます。

③ 地域福祉課題の解決に向けた活動への支援

活動の立上げを支援し、全ての住民に行き届く地域福祉活動の体制づくりを行います。

■ 例えば、こんな場面・・・

- ・ 新たな活動の立上げにむけて、活用できる制度や助成について活動者に情報提供する。
- ・ 地域会館等で説明会を開催し、活動者と区社協職員がそれぞれの立場から説明する。
- ・ 活動の必要性を地域内で共有するため、活動者向け講座や先進地域の視察の実施に向けて支援する。
- ・ 活動内容の明確化にむけたワークショップを開催し、立上げに必要なことやそのプロセスを整理・共有する。



各地域において活動が停滞することなく、全ての住民に必要な支援が行き届く。



声かけ見守り訓練の様子

【区社協の役割】

- ・ 地域の課題を分かりやすく活動者に伝えます。
- ・ 課題解決に向けた活動を地域に作っていきます。
- ・ 福祉専門職等と連携し地域を支援していきます。

④ 地域福祉活動の実践に向けた周知・情報共有

活動者の発掘と参加の呼びかけのため、取組を広く知らせます。

■ 例えば、こんな場面・・・

- ・区社協だよりやホームページで、区社協の取組や地域での活動を周知する。
- ・地域内での活動の周知に向けて、チラシ作成やネットの活用について助言・情報提供する。
- ・区内全域の代表者や実務者が集まる会議を開催し、区内モデル地域での取組について報告・共有する。
- ・当事者組織（発達障がいの当事者・親の会など）やこどもの居場所活動の立上げに際して、活動者とともにチラシを作成して学校などを訪問・周知する。
- ・地域防災に関するDVDを住民参加で作成し、区内イベントや講座で上映する。



区社協の広報媒体を活用し、各地域の取組状況を広く周知することで、新たな活動者や参加者を発掘できる。



新たな参加者への呼びかけや、コロナ禍でもつながりを絶やさないためにチラシを活用

【区社協の役割】

- ・取組への参加者や活動者を広げる、また関心を促すために「情報伝達役」となります。
- ・一人ひとりが悩みを抱え込んだり孤立することがないように、必要な情報を届けます。
- ・地域が主体となって積極的な情報発信ができるよう、さまざまな手法を提案します。

⑤ 活動者・ボランティアの育成・支援

活動者を育成し、活動に向けて調整します。

■ 例えば、こんな場面・・・

- ・小中学校や企業を対象に、福祉に関心を持ち、活動に関わる人を養成するため講座を開催。
- ・ボランティア向けにスキルアップ講座を開催。
- ・地域福祉活動への理解・関心を広げるため、地域福祉活動に関する情報を各種広報媒体により発信。

※災害時には、災害ボランティアセンターとして機能し、日頃のつながりと、広域ネットワークを活かして、支援のパワーを結集・調整。
また国内の災害発生時には、被災地に職員を派遣。



専門的な研修等により、活動者の育成と活動の質が図られる。
また、災害発生時に備えた支援体制が構築される。



被災地の災害ボランティアセンターで支援活動

【区社協の役割】

- ・「地域」や「福祉」への関心を広げ、一步を踏み出すためのきっかけをつくります。
- ・活動に参加してみたいくなるような講座を企画・開催します。
- ・関心を持つ人が、具体的な活動参加につながるようにコーディネートします。

⑥ 地域福祉活動の充実・発展に向けた支援

地域福祉活動の充実・発展に向けて専門的な相談・助言を行います。

■ 例えば、こんな場面・・・

- ・定期的に地域を訪問し、地域における福祉課題や活動者の抱える課題を把握し、相談・助言を行う。
- ・地域福祉活動を行うために必要な情報の提供、好事例の共有などを行う。
- ・地域でまだ取り組んでいない活動や、今後取り組みたい活動について学ぶ機会をつくり、新たな活動を支援する。



区社協のネットワークを活用し、他区・他地域との情報共有を行うことで、活動の充実・強化・発展が図られる。



男性ボランティアが中心となって運営するカフェ

【区社協の役割】

- ・新たな活動を提案し、活動者を拡げていきます。
- ・活動のステップアップに向けた講座や研修を開催します。
- ・活動充実に向けた助言、指導を行います
- ・地域福祉活動の可視化・情報発信を支援します。

⑦ 活動のふりかえりに向けた支援

活動者とともにふりかえる場面をつくり、次につなげます。

■ 例えば、こんな場面・・・

- ・活動の意義を再確認するため、ワークショップ形式でふりかえり・共有を促す。
- ・食事サービスやサロン活動終了後の定期的にボランティア同士のふりかえり場面をもつことを提案する。
- ・食事サービスや活動に対する満足度や改善してほしいところなどを利用者から聞き取り、ボランティア連絡会で共有し、今後の活動の工夫や改善に活かす。



社協の専門的視点に基づき、活動の評価やフィードバックを行うことで、活動がより発展する。



サロンボランティア連絡会で、コロナ禍での活動について支援

【区社協の役割】

- ・活動に出向き、活動者や参加者の状況を把握します。
- ・活動強化に向けた評価、ふりかえりの場を支援します。
- ・活動の継続、充実に向けたメンテナンスをし、その後の展開を活動者とともに考えます。

⑧ 活動の継続への支援

活動が滞ることのないよう、継続に向けて支援します。

■ 例えば、こんな場面・・・

- ・地域での日頃の見守りが貢献した事例について、会議で共有して、活動の意義確認・動機づけを行う。
- ・区内各地域の代表者・ボランティアが集まる会議・研修を開催し、地域間で工夫や大切なポイントなどを情報交換する。
- ・活動の振り返り・評価で確認した成果や今後の課題をふまえ、地域ボランティア向けの研修を企画する。また今後の地域活動支援のために職員間で共有する。



専門的視点に基づく活動の振り返りを行うことにより、活動者の動機が強化され、活動が継続・発展する。



地域福祉シンポジウムで区社協の取組を共有

【区社協の役割】

- ・活動者が取組への思いや展望を言葉にする場をつくり、活動の意義をみんなで共有します。
- ・地域での支え合い活動は、一度立ち上げればそのまま続くものではないため、継続に向けた専門的なバックアップをします。